

防災特集

風水害に備える

今年も6月を迎え、集中豪雨や台風による災害が心配される時期になりました。
集中豪雨や台風などによる風水害は、年々その被害や規模が拡大しています。しかしながら、風水害は地震と比べると、ある程度は発生や経過が事前に予測しやすい災害です。防災気象情報などに注意して減災に努めましょう。

防災に関する知識が
どれくらいあるか
まずはクイズに挑戦してみよう!



災害発生時に家族や知人の安否を確認できる「災害伝言ダイヤル」は何番でしょう?

- ☐ ① 177
- ☐ ② 117
- ☐ ③ 171



警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されました。取るべき行動は?

- ☐ ① 危険場所から全員避難
- ☐ ② 危険場所から避難に時間がかかる人は避難
- ☐ ③ 大災害発生!命の危険!急いで安全確保!



風水害発生による避難時の注意点として正しくないものはどれでしょう?

- ☐ ① 避難所まで必ず最短のルートを選択する
- ☐ ② 履きなれた運動靴などで避難する
- ☐ ③ 持参物は両手が使えるようリュックなどにまとめる



災害時にははじめに取るべき行動はどれでしょう?

- ☐ ① 自分自身(と家族)の身の安全を守る
- ☐ ② 地域の人たちと協力して助けあう
- ☐ ③ 消防や自衛隊など公的機関の救助・援助を待ち続ける

クイズの答えと解説

- Q1 ③ 「171」に電話すると、案内に従って録音や再生ができます。1回に録音できるのは30秒までで、保存期限は48時間です。毎月1日と15日に体験可能日が設定されています。一度、体験してみましょう。
- Q2 ② 「高齢者等」とは、危険な場所にいる高齢者や障がいのある方、妊婦、乳幼児など避難に時間がかかる人を指します。ちなみに①は警戒レベル4「避難指示」、③は警戒レベル5「緊急安全確保」発令時にとるべき行動です。
- Q3 ① 避難先まで近道だとしても、川の近くや土砂くずれなどの危険がある場所は通らないようにしましょう。
- Q4 ①と② 消防・自衛隊など公的機関による救助・援助活動である「公助」が受けられるようになるまで、**3日から1週間かかる**と言われており、被災者全員が満足いく公助を受けられるわけではありません。そのため、自分自身や家族の身の安全を守る「自助」と周囲の人同士で助け合う「共助」が大切です。3日間を乗り切るための日頃からの備えや、共助の中心として地域住民が協力して防災活動を行う組織「自主防災組織」の活動に参加するなど、**災害時に助け合える体制・関係性づくりが重要となります。**

「備え」しておくことで災害時に受ける被害を小さくすることができます!

ここからは、平時からできる「備え」をご紹介します

「自分の命は自分で守る」という心構えをもって、災害が発生した時のことを想定して平時より備えておきましょう。

「ハザードマップ」を活用しましょう

⚠ ハザードマップとは？

ハザードマップは災害が発生した際に想定される様々な被害の範囲や程度、避難所などを示した地図です。長与町では、ハザードマップをインターネット上に公開しています。また、ホームページ上で現在地を表示させながら危険区域を確認できる「長与町Web版ハザードマップ」も公開しています。冊子版ハザードマップは役場でも配布しておりますので、お手元がない方はインターネットや役場で入手してください。

長与町Web版ハザードマップは
こちらから確認できます。



自宅周辺の危険箇所を事前に確認しておきましょう！！



⚠ ハザードマップをもとに事前対策をしましょう

- ・指定避難場所や避難所の確認
- ・避難のタイミングや避難ルートの確認
- ・避難ルートにある危険箇所の確認
- ・子どもや高齢者など要配慮者への対応・避難方法の検討
- ・自宅の補修や土のうの備蓄
- ・在宅避難に備えた水や食料の備蓄 など

避難先は避難所だけではありません

避難は「難」を「避ける」ことです。安全な場所にいる人まで避難をする必要はありません。避難する場合は指定された避難場所や安全な知人・友人宅に避難する「立ち退き避難」が基本ですが、今いる建物内で安全確保をする「在宅避難」も有効的です。

⚠ 「立ち退き避難」をするなら…



- 指定された避難場所への立ち退き避難
小中学校や公共施設など、指定された避難場所へ避難します。
※ペットと避難を検討する場合は避難前に必ず役場へご連絡ください。
- 安全な親戚・知人宅への立ち退き避難
普段から親戚や知人と連絡を取り合い、災害時に避難することを相談しておきましょう。
- 安全なホテルや旅館への立ち退き避難
避難が目的でも通常の宿泊料などが必要です。事前に予約や確認をしましょう。

⚠ 「在宅避難」のすすめ

「在宅避難」は災害時、自宅に倒壊や焼損、浸水、流出等の危険性がない場合にそのまま自宅で生活を送る方法です。避難所は自宅避難生活を送れない場合に行く場所で、自宅が安全であれば無理に避難所に行く必要はありません。日ごろから飲料水や食料、生活必需品などを備蓄し、避難所に行かなくても済むような対策を心がけましょう。

注）土砂災害の危険がある区域は「立ち退き避難」が原則となります。



非常持出品や備蓄食料を用意しましょう

⚠ 非常持出品

非常持出品は、災害から避難するときに最初に持ち出すものです。しかし、非常持出品は、避難の時間に余裕があるときに持ち出すもので、緊急性が高いときは避難を優先させてください。最近はあらかじめ中身が入っているものが人気で、よくお店でも見かけるようになりましたね。家庭でも備えてみてはいかがでしょうか。



玄関横に置いておくと
スムーズに避難
できそうです！



中身はこんな感じ
大人2人分 (8kg!)



⚠ 備蓄品

備蓄品は復旧するまでの数日間を支えるものです。工具や燃料（ガスボンベなど）、簡易トイレなど用途に合わせて事前に用意しておきましょう。備蓄食料は3日～1週間分を目安に用意しておくといでしょう。備蓄食料は、「ローリングストック」の要領で活用しましょう。



※ローリングストックとは…

食品を買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が備蓄されている状態を保つ方法

インターネットを利用した情報取得方法

大雨警報や暴風警報が発表されているとき、インターネットを利用して、河川の水位や雨雲レーダー、台風の進路などの情報を得ることができます。

ホームページ名

アクセス

どんなサイト？

気象庁
ホームページ



気象情報と言えば気象庁ホームページ。
雨雲レーダーや警報級が発表される可能性など、ありとあらゆる情報が掲載されています。
「キキクル」では、危険な地域を視覚的に確認でき、土砂災害や浸水害、洪水害の危険度の高まりを5段階の色分けで確認できます。

川の防災情報



国土交通省が提供している河川情報サイト。
地点登録をしておくと、いつでも長与川の水位や長与ダムの貯水位がわかります。
河川のライブカメラで実際の川の様子を確認することもできます。

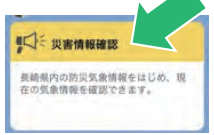
長崎県防災
ポータル



長崎県が提供している総合防災サイト。
県内で発表されている緊急情報や、長崎県に関係のある各地の被害情報をリアルタイムで確認できます。その他、防災に関わる様々な情報を掲載しています。

※お使いのブラウザでホームページ名を検索することでもサイトにアクセスできます。

防災情報の確認方法を知っておきましょう

①	フリーダイヤル	TEL: 0800-200-3312 (無料) 上記番号にお電話いただきますと、最新の町内放送の内容が確認できます。 フリーダイヤルとなりますので、電話料金は発生しません。 
②	登録制メール	町内放送(防災行政無線)の内容がメールで配信されます。 次のURLもしくは、右記の二次元コードにアクセスし、ご登録をお願いします。 http://mobile.nagayo.jp/mail/mobile/   登録方法 ①迷惑メール防止機能をご利用の場合は、「mobile@mobile.nagayo.jp」からのメールを受信できるように設定しておいてください。 ②「サービスを始めてみる」を押し、空メールを送信。 ③メールが届いたら、記載されているURLにアクセス。 ④配信希望情報を選択後、「広域地域から選ぶ」を選択。 ⑤登録完了!
③	SNS	     LINE 公式アカウント ナガヨ ミックン  X (旧: Twitter) 公式アカウント  Yahoo! 防災速報  公式LINEから防災気象情報など確認しやすくなっておりますので、ぜひご活用ください! 使い方 「リッチメニュー」→「防災」をタップ  ●災害情報確認 →防災気象情報や現在の気象情報を表示 ●各種ハザードマップ →長与町防災ハザードマップを表示 ●避難所情報 →開設中の避難所と、混雑具合を表示 ●通報システム →災害時等に異常が発生した場合に町に報告できるもの →災害時に何か異常を発見されましたら、通報をお願いします 
④	ホームページ	 「長与町 防災」で検索すると、長与町防災サイトにアクセスできます。避難所や防災に関することなど、様々な情報を掲載しています。ハザードマップ等も、このサイトから確認することができます。  長与町 Nagayo Town 長与町公式スマホ用アプリ     Android用 iPhone用
⑤	テレビ	大雨や台風が近づいてきたら、テレビを付けてみましょう。 リモコンの「dボタン」を押すと、最新の気象情報や避難情報、他市町の状況など、リアルタイムで情報を得ることができます。 